

(2025 年度 第 08 回) さくら山王自治会 役員会議事録

開催日時：2025 年 11 月 15 日 13:00～15:00

場所：山王集会所

参加：19 名 欠席：5 名（役員：24 名）

【根郷地区社会福祉協議会での三地区住民懇親会】

事前に班長に連絡した根郷地区社会福祉協議会での懇談会（11 月 30 日開催）についての参加依頼と主旨説明があった。

【まちづくり委員会】

（敬愛跡地の住宅開発について）

盛り土工事をするために地域住民の合意を市に申請後、認可されてからとなる。1 月頃からの工事開始になりそう。工事会社から連絡があれば日程を共有します。また、解体工事で汚れた集会所の屋根洗浄が今月の 25 日か 26 日に実施される。

（物井駅ロータリー）

許認可権は四街道警察にあり、続けて依頼してゆく。

（街路樹）

環境部と協議中。まずは街路樹マップ作りをどのように進めるかを協議する。

【施設部】

（印刷機/コピー機の利用枚数）

10 月は使用が少なかった（3,495 枚）。夏祭りのような大きなイベントがなかったからと思われる。

（ロボット掃除機）

ロボット掃除機が夜間に稼働している。稼働状況はアプリで確認できる。人件費より安い費用で掃除ができていたが、月に 4、5 回コードに引っかかったり、椅子の上に乗上げて止まったりする。その際の対応を施設部で検討している。満充電の稼働時間は 2 時間。ロボットは充電ステーションに戻り充電して、掃除を再開するプログラムになっている。トイレと玄関口はロボット掃除機ではできないので、シルバー派遣に来て週 1 回掃除をしてもらっています。

【環境部】

前回の一斉清掃後、綺麗になったことで伸びきった雑草が目立つ状況となっている。一部の公園の草刈りを地域住民の方がやってくれていた。草刈りボランティアをあらかじめ募集することにした。今回の回覧で募集して登録名簿を作る体制にする。作業時間は参加人数にもよるが、1 時間程度を考えている。草刈り機の所有有無に関係なく、ボランティア活動体制を作る。

【次年度に向けて】

昨年の総会議案書に掲載した活動の結果報告、次年度はどうか、活動に関わる予算案を各部で作成してほしい。スクールガードの会議が予定されているので、その際に山王小学校に定時総会日程の 4 月 11 日を教頭に再度確認する。総会開催に向けてのスケジュール説明があった。

1 1月～1月：提案議題について議論／確認／決定

2月：議案書の印刷

3月：議案書の配布

3月～4月 議案書の回収、集計

【班長／役員の選任について】

班長／役員の選出に関する規約を変えたい提案があった（「班内の話し合いで班長を決める」案）。

グループに分かれてこの議題について議論を行い、その後、全体で議論をした。

（議論）

- 今まで役員の選任についての話はあった記憶があるが、班長については初提案である。
- 班長の選任を変えるというのは、班内全員が集まるということか？もしそうなら本当にできるのか？
- 提案をした理由は、班長当番が回ってきて辞めてしまうケースがある。強制はしたくない。班長選任で問題となる班もある。
- 班内全員が班長をできませんとなるのでは？
- 現行のままでよい。新規加入がない限り順番は決まっているため次年度は自分だと把握している。暗黙のルールではあるが「できません」となった際はスキップすることになっている。
- 規約にある「班から1名」のここが重要である。話し合いにより決定となれば簡単には決まらない。
- できたらやりたくないという人が多いのが現実。輪番制となっているからこそ運用できている。
- 原則を外すと、解釈やとらえ方により運用が難しくなる。
- 班の会員数のばらつきの話があった。10世帯以下は適正か？先に各班の会員数にばらつきがある問題を議論したほうが良いのでは？
- 各班の会員数にばらつきがあることは、20年に1回班長を務める班とそうでない班が実際ある。
- それよりも魅力ある自治会にならない限り会員数は増えないのでは？だからこそ班の中で話し合っ
- て選出するという考えである。
- 魅力よりも負荷が大きいからなのでは？魅力は徐々に作っていけるし負荷は一気に減らせる。
- 負荷とはなにか？
- 今はこの議論をしている場合ではないが、拘束時間、役員会も毎月必要なのか？
- 負荷をなくしていく活動はできる。輪番制であれば15年、20年で1回班長をやればよいじゃないと思えるようになってくる。だからこそ班の会員数のばらつきを揃えてあげればよいのでは？
- 会員数が少ないから合併するという案は反対です。班の数が少なくなってくれば、役員／班長が減り、各部署の人数が減るため負担が増える。少ない、多いは班の事情。
- 多ければ副班長を選任すればよいのでは？
- 人数が少なければ少ないで利点もある。顔も状況もわかる。合併したら顔がわからない。
- 少ない班にアンケートをとってみるのはどうか？
- 班長に事情を聞けるので、仕事が増えるだけなのでアンケート不要です。
- 班長のサイクルを整えるということは必要。12年に1回と28年に1回では不公平。
- だが12年に1回は大変だ！とはならないのではないかと？
- 一斉に仕切り直すことはできないが隣接する班で会員数が少ない班を把握しており、合併を提案することはできる。合併するには班の合意が必要となる。
- 班に20人いても半分が高齢者だったするケースもある。事情は班によって違う。

- 役員選出の話、班長以外の立候補者は何人位を役員として予定しているか？
- 2～3名を検討している。
- それならば班長以外の人で役員は今の通りでよいと思う。
- 班長をやりつつ役員をやると色々な作業に刈り出される。役員をやるのが大変だからという声が多いからこそ規約を変えたい。
- 見込んでる2～3人の班長以外の役員は、役職を会長／副会長から外してほしい。マンネリ化するから。
- 副班長制度も規約にないため機能していない。
- 魅力ある自治会とは何ですか？会長が引っ張っているそのやり方もどうなのか。役員会の進行も総務部でやるべきでは？
- 規約に議長の選任はない。
- 議論するには時間が少なく、事前に開示してほしい。役員ではなくサポーター、アドバイザーでよいのでは？
- 一対一の議論になっている。過去、各部の部長だけが集まり次回の班長会の議題を挙げていた。会長によりやり方は違う。
- 以前から議題を事前に挙げてほしいと伝えています。この場を大事にしてほしい。
- 議論の仕方の話をしている。この場で一択となってしまっているので、事前に準備があってもよいと思う。
- 役員会とは全員対等であるべき。議決するのでみんなの意見を聞かなくてはならない。過去何回も役員選出に関して議論をしているが話が進まない。今後本件の議論はやらなくてよいと思う。
- 何回議論をするかではなく内容なのでは？提案の仕組みを理解されていない。今ある自治会の運営に関する課題は継続性。今ある形だと問題があるので変えなくてはいけないのでは？
- 継続性、一貫性の問題でこれは一つの提案であるから、ほかにもやり方はあるはず。
- お願いベースだと続かないため規約に入れこまなくてはいけない。
- 経験値があるため、何人かにより自治会が左右されてしまう。そこが心配である。
- 継続性を重視するならば部長に大きなイベントのサポート、任期を1年プラスするなど案はある。
- 行事部として夏祭りまですごく大変で、任期が伸びて後1年やるのか。サポートと言っても携わってしまえばやらざるを得ない。
- 現に2年も会長をやってくれるひとはいない。協力するべきでは？
- 実質的な議論がなかなかできていない。嫌なことをやる必要はなく、楽しくやりたい。
- 運営するために規約まで変えるという提案ではなく、2026年度はこの問題を解決するためのチームを残すのはどうか？
- 議決権がなければ関係のない人となってしまふ。やりたいと思っている人が役員になれる。今は班長でなければ議決権が得られない。規約を変えないと継続して議論を持ち出すことが難しくなる。
- 法人化すればよいと思っていた。
- 法人化は手続きが大変（世帯会員から個人会員へ）。今ある自治会を1度解散して立ち上げなおさなければならない。
- 過去、法人化について議論した。自治会に所有財産がなく、どんなメリットがあるかを議論して、しないほうがメリットがあるという結論に至った。
- 5月に法的なデメリットのほうが多い話をした。不動産を所有していればメリットはあった。

本題に戻り、変えたい規約を確認する。

- 変えたいではなく変えたほうが良いのではという段階です。
- 班長の再任任期の最長2年を外してほしい。3年ではなぜダメなのか？
- 原則で、禁止はしていなく、決めるのは総会である。
- 班長の任期は1年、役員だけど班長ではないという方がでてくる。
- 役員（議決権なし）と記載してほしい。人が一緒だと考えは同じ。継続はするが議決権は不要かと。
- なぜか決議権は不要なのか？
- 会長次第で意見は変わる。次年度の人たちにもやりたいことがあるはず。
- 班長会の議決権は意味があります。必要ならその都度提案すればよいだけある。
- 立候補者が役員になると優先順位ができてしまい、プレッシャーをかけることができる。ストッパーが必要である。
- そのために解任事項がある。
- 気になるのは【3年（再任あり）】というところ。任期を設けると継続性がなくなる。
- 新しい人を育てていかないと衰退していく。3年でしっかり育てていく。規約で細かいことがすでに書いてあるため立候補者の役職が会長・副会長・部長・幹事役職でなければいけない理由は？
- 役職ある方が役員であるという規約があるから。それを引き継いでくれる人を探すのが大変である。
- 専門部は継続性を担える部の活動をするから、会長、副会長はどんどん人を育てることであれば必要ないのでは？
- 役員会の役割は？ここで決めたことを班長会で提案するのが班長ではなく、班長会で何かを提案するのはおかしいような。班長の権限がない人がどんどん役員になっていくのはおかしい。
- 提案しているのは班長以外の人からも役員を選出しましょうという話。
- 総会では細かいことを決められないため班長会の決定が日常的な運営となる。役員会で否決されたものを班長会へ持ち出すのはおかしい。
- 班長からの選任とそうでない総会で選任された役員がいて混乱するので現行のままでよいのは？
- 根本的な部分は継続性、要求されているのは経験値の話である。役員会の運営、方向性。そこは継続性を要求されていないのでは？部によっては経験値が要求されるはず。
- 本当に継続性が要求されている部分は1年終わったらリセットされる。自治会としてコミットしている行事があり、自治会を活性化していかなければいけない。
- 11月なので次の総会に提案できるものは大きな規約の変更ではない。限られる中で議論が無駄にならないように「CO」など新しいタイトルをつけ総会で決議すればよい。
- ほとんどの人が班長をやりたいなく、班長をやっても役員をやりたいくない。その中でも会長なんて一番荷が重い。維持、活性化させるためにも臨時的な提案を総会にあげるべき。

次月この件に関し、案をまとめもう一度議論をすることとなった。ポイントは役員の選任について。班長の選任は現状のままとした。この後の班長会にて班の構成の話を持ち出すことにする。

以上